

株式についてのご案内

○ 単元未満株式の買取請求・買増請求のご案内

ご所有株式のうち、単元未満株式(1,000株未満の株式)につきましては、次のいずれかの方法を利用して整理していただくことができます。

単元未満株式の買取請求 当社に対して、ご所有の単元未満株式の市場価格による買取りを請求することができます。

単元未満株式の買増請求 当社に対して、単元株式(1,000株)に不足する株式の市場価格による売渡しを請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて単元株式(1,000株)にすることができます。

買取請求・買増請求いずれも**手数料は不要**です。(証券会社の口座で管理されている場合は別途手数料が必要な場合がございます。)

例) 600株をご所有の株主様の場合



○ 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会：3月31日
期末配当：3月31日
中間配当：9月30日(行う場合)
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 電子公告掲載ホームページアドレス <http://www.keihan.co.jp/koukoku/>
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031
(銀行営業日の9:00~17:00)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■ 各種手続きのお申し出先

未払配当金の支払い請求	▶ 三井住友信託銀行(株主名簿管理人)
住所変更、相続、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金受取方法の指定等	証券会社の口座で管理されている株主様 ▶ お取引証券会社 特別口座が開設された株主様※ ▶ 三井住友信託銀行(特別口座管理機関)

※証券会社の口座で管理されていない株式は、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」にて管理されております。特別口座では、株式の売買等はできません。売買等を行うには、証券会社に口座を開設したうえで、株式の振替手続きをしていただく必要があります。

京阪電気鉄道株式会社

〒540-6591
大阪市中央区大手前1丁目7番31号
株式担当 TEL(06)6944-2521 広報担当 TEL(06)6945-4585
ホームページアドレス：<http://www.keihan.co.jp/>



第93期 中間期

株主通信

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



ごあいさつ

第93期中間期株主通信をお届けするにあたり、株主のみならず、皆さまの平素からのご厚情に、心から御礼申し上げます。

平成26年度中間期の業績について

当中間期(第2四半期累計期間)の京阪グループは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこない、業績の向上に努めました結果、連結四半期純利益は81億5千2百万円、当社単体の四半期純利益は63億6千2百万円となりました。また、当期の中間配当は1株につき3円といたしました。今期におきましても年6円配当を継続できる見込みであり、来期以降も安定的な利益配当を実施することを目標とし、経営努力を重ねてまいります。

「安全・安心」と「チャレンジ」の両立

「京阪グループ中期経営計画(2012～2014年度)」では、「沿線再耕」の一環として、子育てや高齢者に優しい沿線づくりを目指したライフサイクル支援事業を推進しております。その取り組みとして、10月に樟葉駅直結の「京阪くずは駅ビル」及び「京阪くずは駅ビル南館」においてカルチャーセンターと保育施設を誘致、オープンし、11月には京都市内においてサービス付き高齢者向け住宅「ローズライブ京都」を開設しました。

また、「有機JAS」規格適合の有機農産物、有機加工食品などを取り扱う㈱ビオ・マーケットの株式を10月に取得し、子会社と

代表取締役社長
CEO兼COO
執行役員社長

加藤 好文



しました。「安全・安心」を経営の礎とする京阪グループにとって、同社をグループに迎え入れたことは京阪ブランドの価値向上に大きく寄与するものと考えており、今後は「食の安全、安心」をひとつの軸とした新たな事業展開にもチャレンジいたします。

このように、京阪グループではこれらの「沿線再耕」と「安全・安心」に向けた取り組みに加え、京都をはじめとする「観光創造」にも積極的に取り組んでまいります。また、京阪グループのさらなる成長を目指し、次期中期経営計画の策定も進めてまいります。

今後もこれまで培ってきた「安全・安心」を基礎に、新たなビジネスチャンスには果敢に「チャレンジ」していくとともに、コンプライアンスの遵守、環境保全、地域との共生といった社会的責任を果たし、企業価値とブランドを向上させ、株主価値の最大化に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後も一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年11月

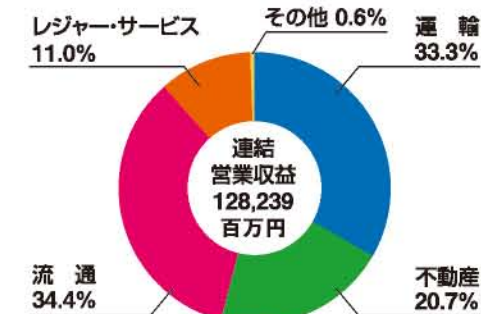
連結決算の概況

平成26年度中間期の連結業績について

当中間期(第2四半期累計期間)のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で景気は緩やかな回復基調が続いていますが、個人消費は消費税引上げに伴う駆け込み需要の反動などにより回復の動きに足踏みが見られました。

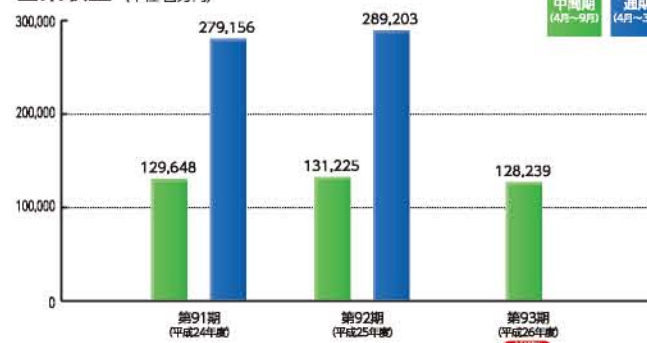
このような経済情勢のもとにおきまして、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって、業績の向上に努めました結果、当中間期の営業収益は1,282億3千9百万円(前年同期比:2.3%減)、営業利益は133億2千万円(前年同期比:2.0%増)、経常利益は117億7千9百万円(前年同期比:4.6%増)、四半期純利益は81億5千2百万円(前年同期比:5.4%増)となりました。

セグメント別営業収益(構成比)

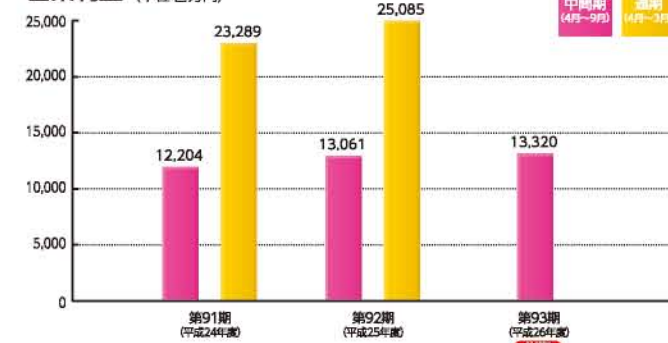


※構成比は、セグメント間取引を含む営業収益に対する比率です。

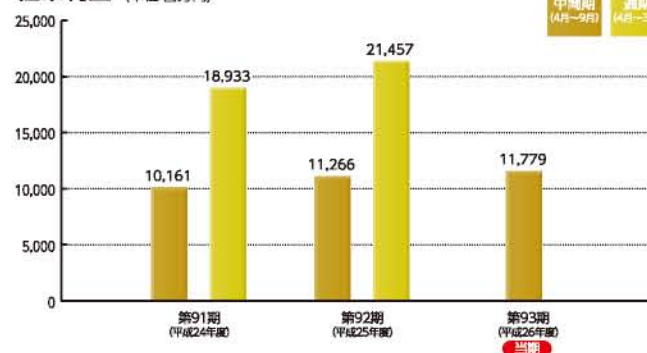
営業収益 (単位:百万円)



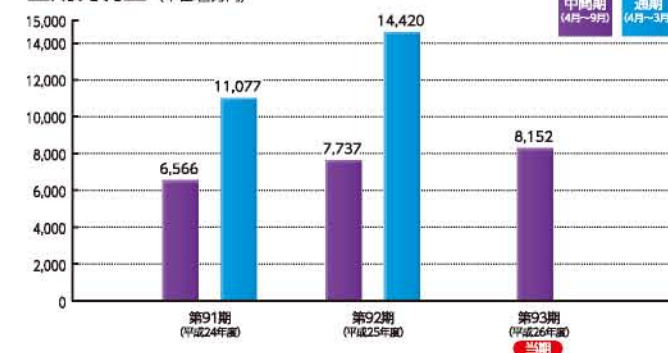
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)

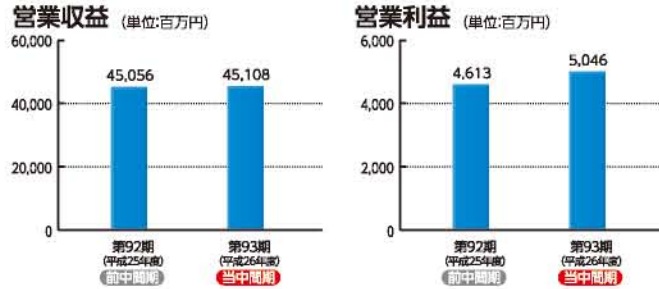


セグメント別の概況

運輸業



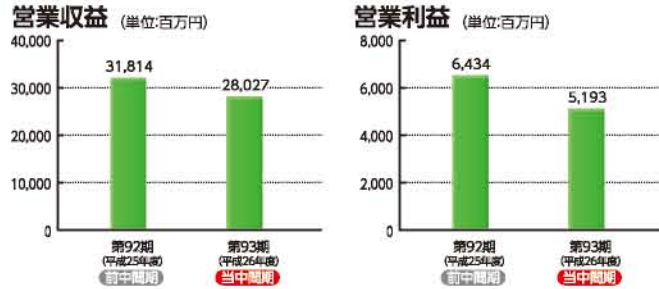
鉄道事業におきましては、新型車両13000系の導入や既存車両6000系のリニューアルのほか、イベント電車を運行するなど、安全性とサービスの向上に努めました。バス事業におきましては、京都定期観光バスに新デザイン車両を導入するなど、旅客誘致にも取り組みました。



不動産業



不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」などの土地建物や「ファインクォーターシティ」などのマンションを販売いたしました。不動産賃貸業におきましては、リニューアルオープンした「KUZUHA MALL」が通期で寄与いたしましたほか、既存の賃貸ビルにおいても稼働率向上に努めました。



流通業



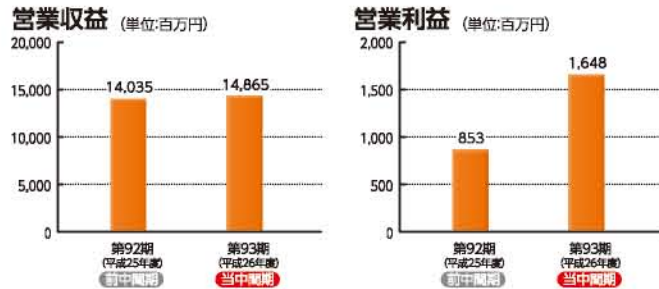
ショッピングモールの経営におきましては、平成26年3月に増床・リニューアルオープンした「KUZUHA MALL」が通期で寄与いたしましたほか、ストア業におきましては、平成26年4月に「ユニクロ関西エアポート店」「ユニクロekimo梅田店」を出店するなど、積極的な店舗展開に努め、収益力の強化に努めました。



レジャー・サービス業



ホテル事業におきましては、新エリアの開業で活況を呈するユニバーサル・スタジオ・ジャパンに隣接する「ホテル京阪ユニバーサル・タワー」「ホテル京阪ユニバーサル・シティ」を中心に、ビジネス・観光需要やインバウンド需要を着実に取り込むことができたほか、各ホテルにおきましても、稼働率の向上と収益力の強化に努めました。



財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	149,053	流動負債	198,161
現金及び預金	15,624	支払手形及び買掛金	9,436
受取手形及び売掛金	16,584	短期借入金	99,022
販売土地及び建物	100,855	前受金	26,513
繰延税金資産	2,974	その他	63,189
その他	13,014	固定負債	298,293
固定資産	522,356	社債	60,529
有形固定資産	455,922	長期借入金	146,788
建物及び構築物	187,887	長期未払金	689
機械装置及び運搬具	12,418	退職給付に係る負債	19,916
土地	219,293	その他	70,369
建設仮勘定	27,518	負債合計	496,455
その他	8,805	(純資産の部)	
無形固定資産	7,587	株主資本	131,351
投資その他の資産	58,846	資本金	51,466
繰延税金資産	2,395	資本剰余金	28,819
その他	16,952	利益剰余金	52,531
		自己株式	△1,465
		その他の包括利益累計額	41,231
		その他有価証券評価差額金	11,456
		土地再評価差額金	32,008
		退職給付に係る調整累計額	△2,233
		少数株主持分	2,372
		純資産合計	174,954
資産合計	671,409	負債純資産合計	671,409

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,991
現金及び現金同等物の増減額	△9,966
現金及び現金同等物の期首残高	25,831
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	10
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,875

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

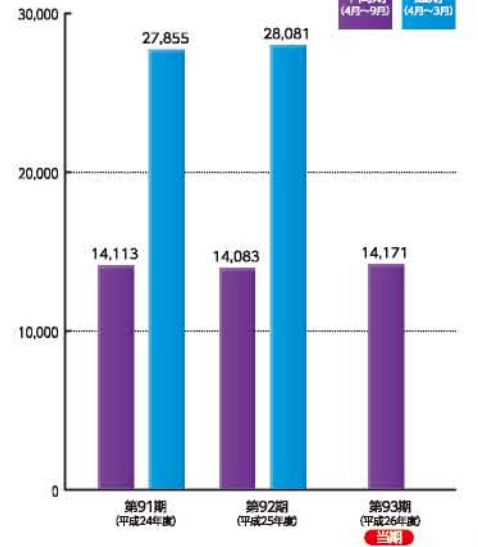
四半期連結損益計算書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業収益	128,239
営業費用	114,918
営業利益	13,320
営業外収益	800
営業外費用	2,341
経常利益	11,779
特別利益	724
特別損失	95
税金等調整前四半期純利益	12,408
法人税、住民税及び事業税	3,863
法人税等調整額	230
少数株主損益調整前四半期純利益	8,314
少数株主利益	162
四半期純利益	8,152

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社総旅客数 (単位:万人)




特集 ビオ・マーケット

平成26年10月、当社は有機野菜や有機加工食品などを扱う(株)ビオ・マーケットの株式を取得しました。消費者の食の安全・安心への関心が高まる昨今、化学肥料や農薬、遺伝子組み換え技術を使わず、環境に配慮した農業生産の方法を用いる有機(オーガニック)農業は今後一層の成長が見込まれています。その市場において30年以上の実績を有する同社と京阪

グループの多様な事業を組み合わせることで、京阪沿線はもとより全国のお客さまに高品質な有機関連商品を安定的にご提供し、販売を拡大するとともに、「オーガニック」をテーマとしたライフスタイルを発信し、事業を展開してまいります。今回はそのようなビオ・マーケットの事業の一部をご紹介します。

○会社概要

 株式会社ビオ・マーケット	
事業所	本社・豊中センター：大阪府豊中市名神口1-8-1 戸田センター：埼玉県戸田市新曽1913 和歌山センター：和歌山県紀の川市重行659-57
設立年月日	昭和58年8月1日
資本金	82百万円
業績	売上高:3,053百万円 (平成26年3月期)
事業内容	(会員制宅配事業) 「ビオ・マルシェの宅配」として、100%有機JASの野菜をはじめ、500アイテムに及ぶ有機加工食品などを中心に提供。グループ会社を含め、東京・埼玉・名古屋・京都・大阪・兵庫・広島・福岡などで約8,000会員に宅配。 (卸売事業) 野菜を中心とした有機農産物及び「ビオ・マルシェ」ブランドの有機加工食品を百貨店、外食事業者などに販売。有機農産物を食品メーカーに販売、プライベートブランド商品を共同開発。 有機食品専門店「ビオ・マルシェ」として、店舗を展開 ・大宮高島屋店(埼玉県さいたま市) ・タカシマヤフードメゾンおたかの森店(千葉県流山市)



原則、自社便で専門の配送員がお届け



「ビオ・マルシェ」のプライベートブランド商品



100%、オーガニック宣言

おいしくて、やさしい、本当の「有機野菜」をあなたへ。



○有機野菜について

ビオ・マルシェの野菜には、全て「有機JASマーク」がついています。

「無農薬」や「減農薬」などの、あいまいで誤解しやすい表示は、今では使うことができなくなり、「特別栽培」と表示することが定められています。

それに対し、「有機JASマーク」は化学合成された農薬も肥料も2年以上使っていない畑から収穫された野菜だけが許されている信頼の表示です。また農薬の飛散を防いだり、他の農産物と混ざらないようしっかりとした管理が認められた安心な有機(オーガニック)野菜の証でもあります。



(有機JASマーク)

全国の有機野菜の約7%がビオ・マルシェの畑で育ちました。

信頼性が高いかわりに厳しい条件を満たさなければならぬ有機の農産物は国内生産のわずか0.24%です。



〔平成24年度認定事業者に係る格付実績(農林水産省)〕および自社取扱実績のデータより

○ビオ・マルシェの宅配

ビオ・マルシェの畑で採れた旬の有機野菜を原則、自社便で専門の配送員がみなさまの自宅まで直接お届けいたします。



お届けの際にもビオ・マルシェでは有機JASの小分け認定を取得しているため、お届けの途中で農薬に汚染されることも有機以外の野菜と混ざること心配ありません。



カタログ「ゆうきくん」

○オーガニックの普及に向けたビオ・マルシェの取り組み



「能勢リサーチ・ファーム」での稲刈り

リサーチ・ファーム&オーガニック・ツアー 各地で体験農場を運営しております。また、オーガニックを楽しむツアーを開催したりと、有機農業とふれることができる様々な活動を実施しております。

オーガニック・ライブ

生産者、メーカー、消費者、ビオ・マルシェスタッフが一同に集う大きなイベントです。有機農産物の生産者による講演会なども行っております。



オーガニック・ライブでの講演会

クッキング講座

有機農産物を使用した各種クッキング講座を開催しております。会員さま同士の交流の場にもなっています。

これからもみなさまからのご利用をお待ちしております。※ビオ・マルシェに関する詳細は<http://biomarche.jp/>をご参照ください。

京阪 トピックス

○6000系車両のリニューアル工事を進めています

当社では、6000系車両(全14編成・112両)のリニューアル工事を順次進めています。車いすスペースや液晶型車内案内表示器の設置といったバリアフリー化への対応のほか、内装材の取り替え、座席のポケットシート化と1人当たり幅の拡大など、当社最新車両をベースに車内を刷新。さらに、車内照明などのLED化による省エネ化のほか、主要な機器類の更新による低騒音化、故障の防止、保守の軽減を図っています。

9月5日(金)には、リニューアルした1編成目が営業運転を開始。今後、年間1~2編成のペースで工事を実施します(全編成の工事完了は平成33年度予定)。



○京都定期観光バスに新デザイン車両が登場

京阪バス(株)は、9月13日(土)に、新デザインの京都定期観光バス3車両の運行を開始しました。新デザインは、京都のイメージを3つの言葉「麗し」「和み」「艶」で表現すべく、それぞれ「芸妓」「舞妓」「太夫」のイラストで車体をラッピング。現在、人気の高い定番「京都一日コース」や、特別拝観・特別体験を取り入れた「プレミアムシリーズ」などで運用しています。なお、同車両は、京都市の無形文化遺産である「京・花街の文化」の継承・発信に賛同するものでもあります。

同社をはじめとする京阪グループでは、今後も、京都観光のさらなる活性化に取り組んでまいります。



○ひらかたパークご来園者数100万名を目指して

ひらかたパークでは、新園長の超ひらパー兄さん(岡田准一さん)のもと、年間来園者100万名を目指し様々な取り組みを展開しています。

アイマスクを着用し、見えないスリルをお楽しみいただく「目隠しライド」を実施しているほか、9月13日(土)には、遊び方を自ら考え、生み出す知育型アトラクション「あたま系アスレチック ヤッテミ〜ナ」をオープン。さらに、11月15日(土)からは、約100万球のLEDを用いた大阪府下最大級のイルミネーションイベント「光の遊園地」を開催し、ご好評をいただいています(来年2月15日(日)まで)。



「目隠しライド」PRポスター



あたま系アスレチック イルミネーションイベント ヤッテミ〜ナ 「光の遊園地」(イメージ)

○大阪でマンションを相次ぎ分譲

京阪電鉄不動産(株)は、大阪市内において分譲マンションを相次いで発売しました。7月12日(土)に、大阪市淀川区で建設中の「ザ・レジデンス東三国」(地上15階・地下1階建、総戸数304戸、平成28年2月竣工予定)の分譲を開始。地下鉄東三国駅徒歩6分の同物件は、公園や店舗、小中学校に近接するなど、子育てや日々の暮らしに適した環境が特長です。また、8月2日(土)には大阪市北区で建設中の「ファインフラッツ南森町」(地上15階建、総戸数108戸、平成28年1月竣工予定)の分譲を開始。地下鉄南森町駅など3線3駅が徒歩1分の好立地や、女性目線で選ばれた住宅設備などが特長です。



ザ・レジデンス東三国 ファインフラッツ南森町

○くずはにライフサイクル支援施設が続々オープン

京阪グループでは、中期経営計画(2012~2014年度)に掲げる全社戦略のひとつ「沿線の再耕」の一環として、ライフサイクル支援事業の推進に取り組んでいます。

なかでも、3月にグランドオープンした「KUZUHA MALL」を擁する樟葉駅周辺では、訪問介護・看護などを展開する「京阪ライフサポート くずはケア」に続き、様々なライフサイクル支援施設がオープンしています。

10月1日(水)には、駅前の「京阪くずは駅ビル」に、文化教室「朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化塾 くずは教室」が開業。趣味・教養・芸術・健康などのほか、沿線と関連深いテーマを題材とした約190種の講座を通じ、地域の文化活動の発展に取り組んでいます。



朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化塾 くずは教室

また、同日には、「京阪くずは駅ビル南館」に、家事代行サービス「クラッシュファミリー コンシェルジュ関西 くずはオフィス」もオープンし、掃除・洗濯・料理やご高齢者の介助、ベビーシッターなど、様々な生活シーンにおける家事代行サービスをご提供しています。



クラッシュファミリー コンシェルジュ関西 くずはオフィス (イメージ)

来年4月1日(水)には、同ビルでプレオープン営業中の月極保育・一時保育「おうちde保育 ステラ 京阪くずは校」がグランドオープンを迎え、保育・教育サービスに加え、ご家庭での家事・育児支援なども併せて行い、子育てのある暮らしを総合的にサポートします。

今後も京阪グループでは、あらゆる世代が住み良い街・沿線づくりに取り組んでまいります。



おうちde保育 ステラ 京阪くずは校

○琵琶湖ホテルのプライダル施設をリニューアルオープン

琵琶湖ホテルでは、本年の創業80周年を記念し、プライダルスペースをリニューアルオープンしました。8月から9月にかけて、美容室にご要望の多い個室を設置したほか、サロンの打ち合わせコーナーを増設。併せて衣裳室をサロン近くに移設し華やかな空間を演出するとともに、隣接するロビーとデザインを統一することで一体感ある非日常的な上質感を持たせています。

同ホテルをはじめとするグループ各ホテルでは、今後もおもてなしやサービスのさらなる向上に取り組んでまいります。



プライダルサロン



衣裳室

CSR活動

ポスター「京阪の『安全・安心』-RAILWORKS-」を掲出しています

当社の鉄道事業の現場では、お客さまに安心して鉄道をご利用いただくため、日々様々な取り組みを継続的に行っています。お客さまが普段あまり目にされることのないこれらの取り組みを、ポスター「京阪の『安全・安心』-RAILWORKS-」にてご紹介しています。

6月から9月にかけては第1弾として、架線(電車線)の張り替え作業を、現在は第2弾として、列車の運行を司る運転指令所の業務をご紹介しています。

また、この内容はホームページ「こころまち つくろう 活動レポート」でも詳しくご紹介していますのでぜひご覧ください。(www.keihan.co.jp/brand/)



第1弾 第2弾

京阪 会社情報

○ 会社の概要 (平成26年9月30日現在)

- 設 立 昭和24年11月25日(12月1日営業開始)
(創立:明治39年11月19日)
- 資 本 金 51,466,416,776円
- 発行可能株式総数 1,595,886,000株
- 発行済株式の総数 565,913,515株
- 株 主 数 52,956名
- 従 業 員 数 1,617名
- 本 社 事 務 所 大阪市中央区大手前1丁目7番31号
- 主 要 な 事 業 内 容
 - ① 鉄道事業(鉄軌道による旅客運輸)
 - ② 不動産事業(土地建物の販売および賃貸)
 - ③ レジャー事業(遊園地などの経営)
- 営 業 キ 口 91.1km
- 車 両 数 709両

○ 役 員 (平成26年9月30日現在)

- | | | | |
|--------------------|--------|--------|-------|
| 代表取締役社長
CEO兼COO | 加藤 好文 | 常務執行役員 | 木村 靖夫 |
| 取締役社長 | | 執行役員 | 浅井 栄一 |
| 代表取締役専務執行役員 | 小川 雅人 | 執行役員 | 中西 基之 |
| 取締役専務執行役員 | 下條 弘 | 執行役員 | 中野 道夫 |
| 取締役常務執行役員 | 三浦 達也 | 執行役員 | 中野 道夫 |
| 取締役常務執行役員 | 太刀川 克己 | 執行役員 | 尼田 賢光 |
| 取締役 | 佃 和夫 | 執行役員 | 上野 正哉 |
| 取締役 | 北 修爾 | 執行役員 | 稲地 利彦 |
| 監査役(常勤) | 井関 隆政 | 執行役員 | 石丸 昌宏 |
| 監査役(常勤) | 前田 佳彦 | | |
| 監査役 | 家近 正直 | | |
| 監査役 | 島井 章吉 | | |
| 監査役 | 梅崎 壽 | | |

○ 京阪グループネットワーク (平成26年11月現在)

- | | |
|--|--|
| ■ 運輸業
京阪電気鉄道(株)
叡山電鉄(株)
京福電気鉄道(株)
(株)京阪エンジニアリングサービス
(株)京阪レジャーサービス
中之島高速鉄道(株)
(株)京阪ステーションマネジメント
(株)京阪エージェンシー
京阪ライフサポート(株)
京阪バス(株)
京都京阪バス(株)
京阪京都交通(株)
ケービーエンタープライズ(株)
江若交通(株)
(株)ザ・コジャック
京都バス(株)
ケーテー自動車工業(株) | ■ レジャー・サービス業
(株)琵琶湖ホテル
琵琶湖ホテルサービス(株)
(株)ホテル京阪
(株)京阪アーバンシステムズ
(株)京阪リゾートシステムズ
京都タワー(株)
(株)京都センチュリーホテル
琵琶湖汽船(株)
琵琶湖汽船サービス(株)
びわこフードサービス(株)
大阪水上バス(株)
比叡山鉄道(株)
(株)樟葉パブリックゴルフコース
比叡山自動車道(株)
(株)ガーデンミュージアム比叡 |
| ■ 不動産業
京阪カインド(株)
京阪電鉄不動産(株)
イースタン興業(株)
京阪アセットマネジメント(株)
京阪ビルテクノサービス(株)
京阪産業(株)
(株)かんこう
(株)文化財サービス
京阪園芸(株) | ■ その他
(株)大阪マチャンダイズ・マート
(株)京阪ビジネスマネジメント
(株)京阪カード
(株)ピオマーケット
(株)ポカラ
(株)ピオファーム
(株)はちけんや |
| ■ 流通業
(株)京阪流通システムズ
(株)京阪百貨店
(株)京阪友の会
(株)京阪ザストア
(株)京阪レストラン
(株)ジューサーバーコーポレーション | |

株主優待のご案内

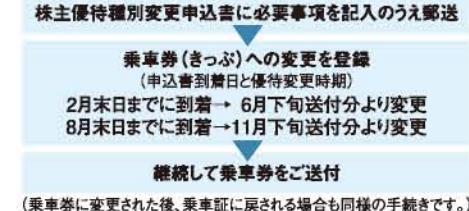
○ 株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚数	乗車券を選択された株主様	枚数				
1,000株以上 20,000株未満	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	1,000株につき3枚	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	90枚				
20,000株以上 34,000株未満		60枚						
34,000株以上 48,000株未満	当社線全線通用乗車証 (定期券型式)	1枚			120枚			
48,000株以上 100,000株未満		1枚						
100,000株以上 300,000株未満	当社線全線・京阪バス線 通用乗車証 (定期券型式)	2枚				240枚		
300,000株以上 500,000株未満		3枚						
500,000株以上 1,000,000株未満		5枚						
1,000,000株以上		10枚					360枚	
								600枚

株主優待乗車証・優待乗車券選択方式のご案内

株主優待乗車証発行対象(34,000株以上ご所有)の株主様が、株主優待乗車券を希望される場合は、株主優待乗車証に替えて株主優待乗車券を発行いたします。

乗車券への変更方法
株主優待種別変更申込書を、変更を希望する優待の基準日(3月31日、9月30日)1カ月前までに当社に到着するようにご送付ください。株主優待種別変更申込書の入手は、当社ホームページよりダウンロードされるか、または当社株式担当へお電話ください。



○ 京阪グループ諸施設株主ご優待

1,000株以上ご所有の株主様は、京阪グループの諸施設をご優待価格でご利用いただけます。

① 京阪グループ株主ご優待カード (何度でも利用可) 京阪グループホテル 宿泊20~40%割引等 大阪水上バス 乗船料20%割引 比叡山坂本ケーブル 運賃20%割引 京阪園芸 お買物10%割引 京阪グループホテル「るりの湯」 入浴料金割引	ホテル内レストラン 飲食10~20%割引 ステーキハウス近江 飲食10~20%割引 琵琶湖汽船 乗船料20~30%割引 比叡山ドライブウェイ・奥比叡ドライブウェイ 通行料金割引 琵琶湖ホテル「るりの湯」 入浴料金割引	② 京阪グループ施設ご優待割引券(クーポン) ひらかたパークのりものフリーパス割引券2枚 パナソニック(天満橋駅) 飲食10%割引券5枚 京阪百貨店 お買物10%または5%割引券2枚 くずはゴルフ場 割引券2枚
---	--	--

○ ひらかたパークご招待

ひらかたパーク株主ご招待入園引換券2枚(ご招待用乗車券4枚付)を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。

○ 送付時期(年2回)および有効期間

対象	3月31日現在の株主様	9月30日現在の株主様
送付時期	6月下旬	11月下旬
乗車券・ひらかたパークご招待券・諸施設株主ご優待の有効期間	ご到着日~1月10日	ご到着日~7月10日
乗車証の有効期間	7月11日~1月10日	1月11日~7月10日

※株主優待制度の詳細については、当社ホームページをご覧ください。